

広報広聴委員会先進地視察報告書

日 時	平成31年1月21日（月）午後1時から午後3時まで
視 察 先	静岡県菊川市議会
視 察 項 目	(1) 議会だより「議会のひろば」について (2) 議会報告会について (3) その他の取り組みについて
視 察 者	委員長 林 秀人 副委員長 大村 聡 委 員 林 正則、久野たき、伊藤清一郎、藤井貴範、竹内慎治、古俣泰浩、伊藤正治、渡邊眞弓、伊藤公平
視 察 内 容	(1) 議会だより「議会のひろば」について 菊川市議会では、誰にでもわかりやすく、親しみやすい議会だよりとなるよう、平成28年5月19日発行号から議会だよりをリニューアルした。リニューアルに当たっては、様々な先進自治体の議会広報紙と菊川市の議会だよりを来庁者に比較していただき、読者である市民の視点を取り入れた。また、手にとりやすいよう表紙をすっきりしたデザインにするとともに、巻頭特集として市民との対談形式のインタビューを毎号掲載するなど、記事にも工夫が凝らされている。今後の課題としては、読者からの意見聴取及びフィードバック、広報広聴委員会の設置検討などが挙げられるとのことであった。 (2) 議会報告会について 菊川市の議会報告会は、平成21年に第1回を開催し、今年度、10回目の節目を迎えたところである。その際、議会報告会の愛称を公募し、最終的に『議会ふれあいミーティング「語ら座あ』』と決定した。 開催時期及び回数については、当初予算成立後おおむね3か月以内に、地区単位で11回、全体で1回の計12回を開催している。内容は、議会の活動や予算審議に関することである。運営方法としては、議員を4班に分け、司会、発表、記録等の役割分担をして担当地区の発表を行っている。また、開催後には議長へ報告書を提出するとともに、広報紙、市ホームページへ掲載し、市行政への重要案件は市長へ報告する。今後の課題としては、テーマの選び方や、年間の議会活動における議会報告会の位置付けといった点がある。 (3) その他の取り組みについて 議会基本条例に基づく政策討論会の実施や、議会図書室と市立図書館及び県立中央図書館との連携・協力による図書室機能の充実に取り組んでいる。
所 感	議会だより「議会のひろば」については、読者である市民の目線で大幅なリニューアルを短期間でなし遂げた手法は参考になった。 また、議会報告会については、地区単位で開催することにより、開かれた議会、信頼される議会につながるるとともに議員の資質向上に役立つと感じた。 より多くの市民に議会情報をわかりやすく伝え、様々な声を聞くことは、議会の広報広聴活動の原点であり、基本的な課題でもある。そうした意味において、菊川市議会における取り組みは、意義深いものであると感じられた。 本市の議会広報広聴活動においても、議会情報を市民にどのように提供し、また市民の声をどのように政策に反映させるかを再考するとともに、議会が一つとなって取り組みを行うことが重要との思いを強くした視察であった。